8 電気温水器本体の設置

⚠警告

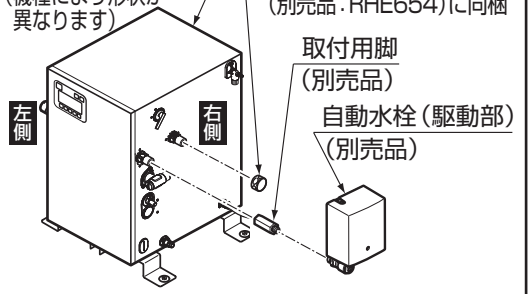
屋内用のため、屋外には設置しない
感電や故障の原因になります。

水がかかったり、表面に結露を生じるような湿気の多い場所、特に浴室やシャワールームには使用しない
感電や故障の原因になります。

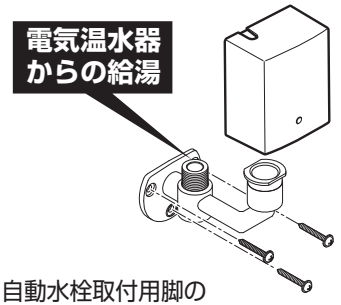
満水質量が15kgを超える場合は、下記いずれかの方法で施工してください。
①丈夫な壁で囲うなどの転倒防止工事を現場で行う。
②弊社別売品(耐震用脚)を使用して施工する。

■自動水栓（駆動部）の取り付け

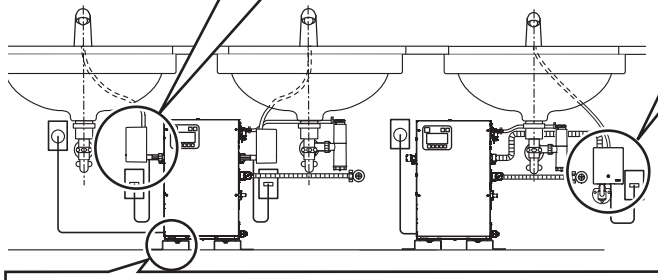
《電気温水器本体に取り付ける場合》
自動水栓取付用脚（別売品:RHE654）が必要です。取付方法は別売品に同梱の「施工説明書」を参照してください。



《壁に取り付ける場合》
自動水栓取付用脚(別売品:TN74−2R)で自動水栓を壁に固定し、取り付ける。



※自動水栓取付用脚の取付方法は、取付用脚に同梱の「施工・取扱説明書」を参照してください。



《床に直置きする場合》
床に直置きする場合は別売品の耐震用脚（RHE706）をご使用ください。
取付の際は必ず耐震用脚に同梱の「施工説明書」を参照してください。

9 連結管(別売品)の取り付け

注意
給水管にはフレキシブル管をご使用ください。
(鋼管などで接続されると、シール剤などが内部に入り作動不良を起こす場合があります。)

建築躯体側配管接着剤が乾燥していない状態で電気温水器を取り付けないでください。
(接着剤が乾いていない状態で湯を通すと湯がにおうことがあります。
必ず接着剤が乾いていることを確認してから取り付けてください。)

■混合栓（別売品）および止水栓（別売品）に連結管を接続する

※混合栓の取付方法は、混合栓に同梱の「施工説明書」を参照してください。

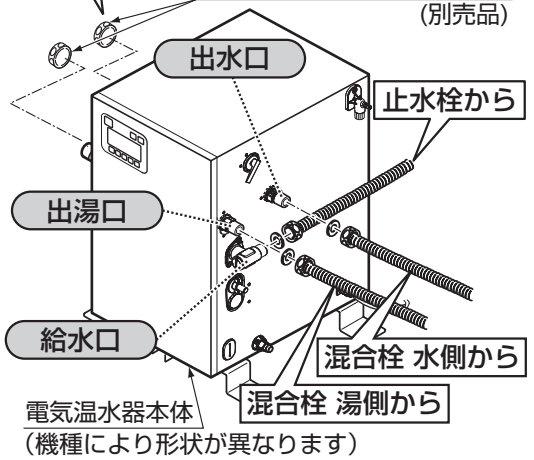
⚠注意

給水口に接続する前に必ず、配管内のゴミなどを取り除くため止水栓を開けバケツ2杯(約20L)程度の水を捨てる
フィルターを通ったゴミが機器内に入り、故障や水漏れの原因になります。

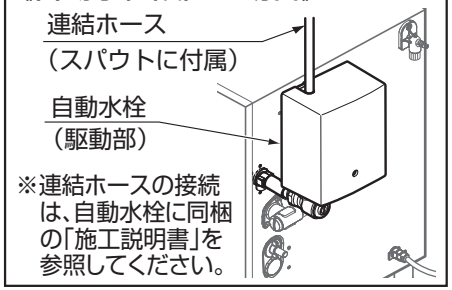
注意
混合栓水側への給水配管は、必ず電気温水器の出水口より接続してください。
（減圧弁の故障の原因になります。）

■下図の要領で連結管（別売品）を電気温水器本体に接続する

《1連設置の場合》
電気温水器本体左側の出湯口、出水口を接続口キャップ(ふさぎふた,別売品：TH651)でふさぐ。(6Lは除く)

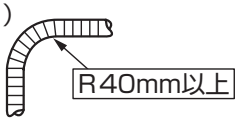


《自動水栓設置の場合》



※連結ホースの接続は、自動水栓に同梱の「施工説明書」を参照してください。

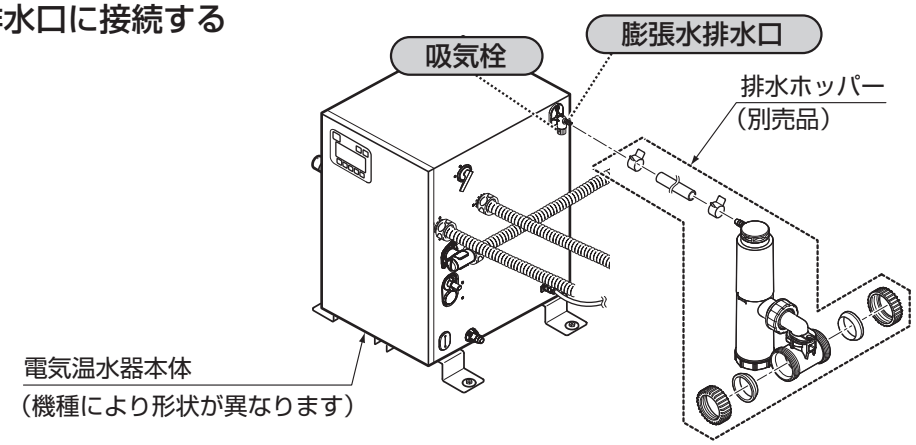
注意
連結管は、極端に折らないでください。
（R40mm以上は確保してください。）



連結管は、電気温水器側が下り勾配になるように接続してください。

10 排水ホッパー（別売品）の取り付け

■下記の要領で排水ホッパー（別売品）を電気温水器本体の膨張水排水口に接続する



注意	排水ホッパーは必ず、電気温水器1台につき、1個取り付けてください。
	排水ホッパーの取り付けは、排水ホッパーに同梱の「施工説明書」に従って取り付けてください。

11 中継コードの接続（タイマーあり商品のみ）

⚠警告

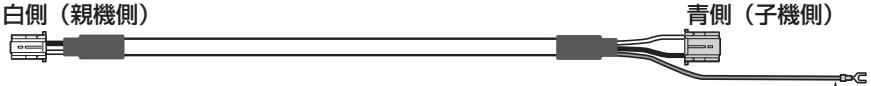
中継コードを接続する際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く
感電の原因になります。

注意	必ず専用の中継コード（別売品：RHE675−40）をご使用ください。

■中継コードでタイマーあり電気温水器を連動させる場合は、下記の手順で中継用コードを接続する

①「沸上げ運転」スイッチを「切」にして電源プラグをコンセントから抜く。

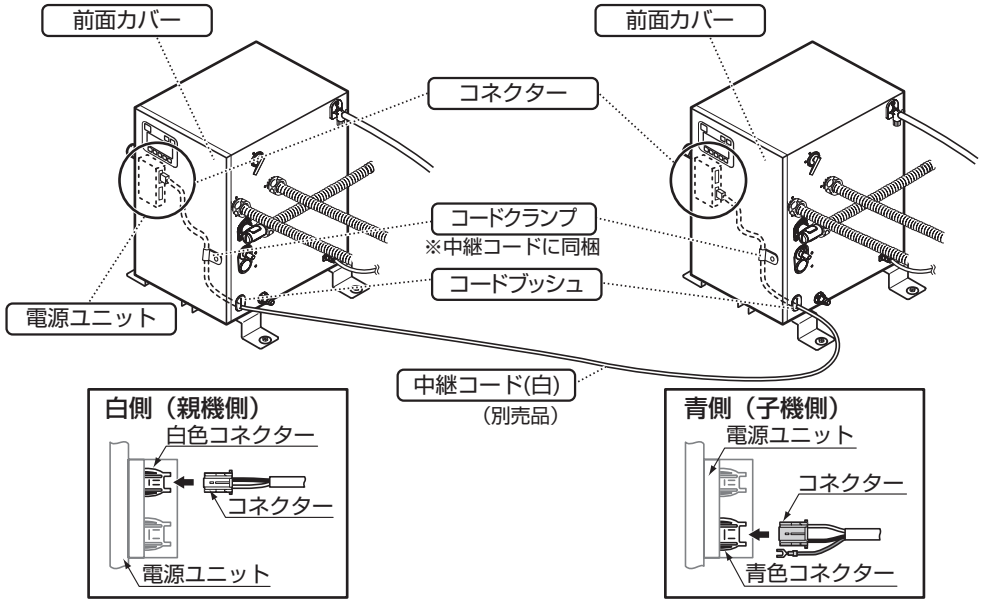
② 中継コードを機器のコードブッシュに通す。



白のコネクターを挿入した方が親機となり、親機のヒーターに通電しているときは、子機のヒーターへの通電をストップします。

11 中継コードの接続（タイマーあり商品のみ）（つづき）

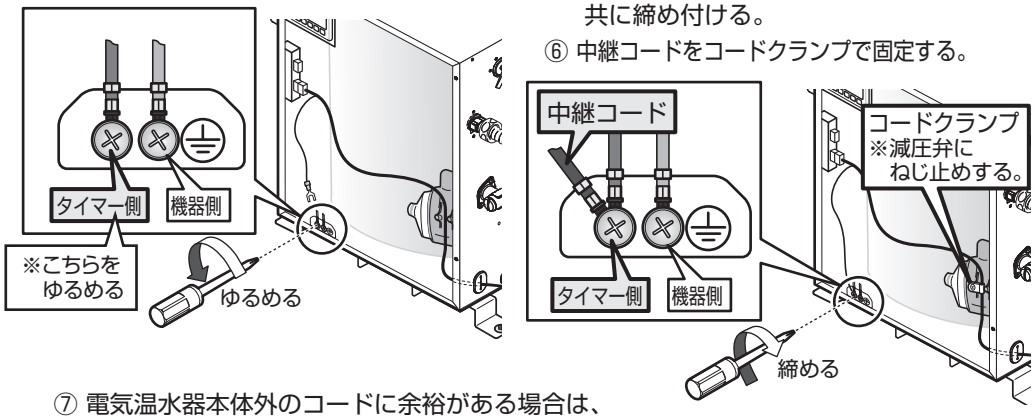
③ 電気温水器本体の前面カバーを取り外し、電源ユニットのコネクターに挿入する。



④ 子機側のアース端子を締結しているねじ（タイマー側）をゆるめる。

⑤ 中継コードのアース端子をタイマー側に挿入し、タイマー側のアース端子と共に締め付ける。

⑥ 中継コードをコードクランプで固定する。



⑦ 電気温水器本体外のコードに余裕がある場合は、
市販のコードフックなどで、壁やカウンター裏など目立たない場所に固定する。
※使用時や掃除などのじゃまにならないように配慮してください。

注意	電気温水器1台につき、白（親機用）と青（子機用）のコネクターを1つずつ搭載しています。お客様のご要望に応じた親子設定が可能です。
	電気温水器は2台まで連動できます。